

住

愛知県建設組合連合

業界の活性化を目指し、 多岐にわたる事業を展開

耐震診断、被災住宅の応急修理に関する協定なども

かつて大工さんが集まり、各地で聖徳太子をお祀りし、盛んに行なわれていたのが太子講です。現在、愛知県建設組合連合には33の支部がありますが、それぞれの元となっているのは地域に根ざした太子講です。ただし、その多くは、主に知多や三河です。そして昭和23年に愛知県建設作業労働組合として結成されたのが現在の愛知県建設組合連合です。

設立当初の活動は戦後の労務加配米や労務用配給物資の支給を受けることでした。その後、国保の運営、職業訓練校の開設、労働保険の取扱など、多岐にわたり事業を展開してきました。また組合員のための活動だけではなく、業界の振興はもちろん、耐震診断・改修推進事業や法令講習会への取り組み、さらに平成18年には災害時における被災住宅の応急修理に関する協定を愛知県と締結しています。

伝統建築研究会で技能と知識の継承

建築材料の進化には目覚ましいものがあります。かつてはベテランでなければできなかったような複雑な加工も、いまではあらかじめ工場加工が行な



われます。現場では与えられた建材を指示通りに組み立てることが多くなっています。しかし建築物に対する本来の技能や知識がないと、耐震補修や増改築するとき、取り外しても



いい柱や壁と触れて

はいけない部分を見分けることができません。そこで組合の中に伝統建築研究会を設け、平成元年から全国各地の文化財的建築物や復元された歴史的建築物を視察し、経験豊富な熟年者と若手技能者との対話を深めてもらい、在来建築のより深い知識の継承にも努めています。これまで、岡崎城大手門の復元工事や安城の丈山苑詩泉閣の建築にも携わっています。

平成19年には碧南市が建設した「碧南市ものづくりセンター」にそれまで県内4カ所にあった職業訓練校を統合し、愛知建連技能専門校を開校しました。木造建築、左官タイル施工、建築板金、造園の4つの科を設け、建設の仕事につきたいという若者たちが学んでいます。こうして育った若者は技能五輪、技能グランプリに選手としても出場しています。

DATA ■愛知県建設組合連合

所在地：北区清水五丁目6-9 国保組合会館内

- ・昭和23年：愛知県建設作業労働組合として設立
- ・昭和39年：中部建設産業協会を設立
- ・昭和44年：愛知県建設作業労働組合と中部建設産業協会が合併し、愛知県建設組合連合となる
- ・平成元年：伝統建築研究会発足
- ・平成19年：(職)愛知県建設職業訓練協議会 愛知建連技能専門校を開校